

No.	16-1-6	場所	豊丘村 天竜川の明神橋	次世代への継承キーワード
名称	①明神橋の橋げたに打ち付ける濁流 ②明神橋上の(逃げ出した)家畜			災害現象理解
災害現象	洪水氾濫			河川 天竜川本川
補足事項				支流

概要

本来は梅雨の盛りのはずだが、田植えどころか水田の代かきもできないほど、春先からの少雨で水枯れの状態が続いた1961年（昭和36年）6月。ところが、23日夜から降り出した雨は「お湿り」どころか徐々に勢いを増し、下伊那郡豊丘村でも雨水を吸い込んだ山肌の土砂が部分的に大きな被害をもたらした。

中でも、県道伊那生田飯田線から4キロほど東側の山あいにあった河野地区の二丁集落では、27日午後の山崩れをきっかけに電灯が消え、村からの情報も途絶えた。土砂交じりで濁流と化した間沢川は、一晩の間に農地を根こそぎ飲み込み、川べりの幹線道路を全てえぐり取ってしまった。

●体験談：濁流に家をのまれた〇〇さんが書いた詩
『家が流れていく』

三本あったポプラが 一本だけになった時
山くずれがした時と同じような音をたてて 家はくずれ落ちた
生まれてから今まで ずっと育てられたあの家が いま流れて行く
泣けれどもせん 何もいうこともできん 悲しいとも感じなんだかもしれん
ただ棒のように立って なんにも忘れたようになって
見ていただけだった

（「続・濁流の子」より）

記録



明神橋の橋げたに打ち付ける濁流



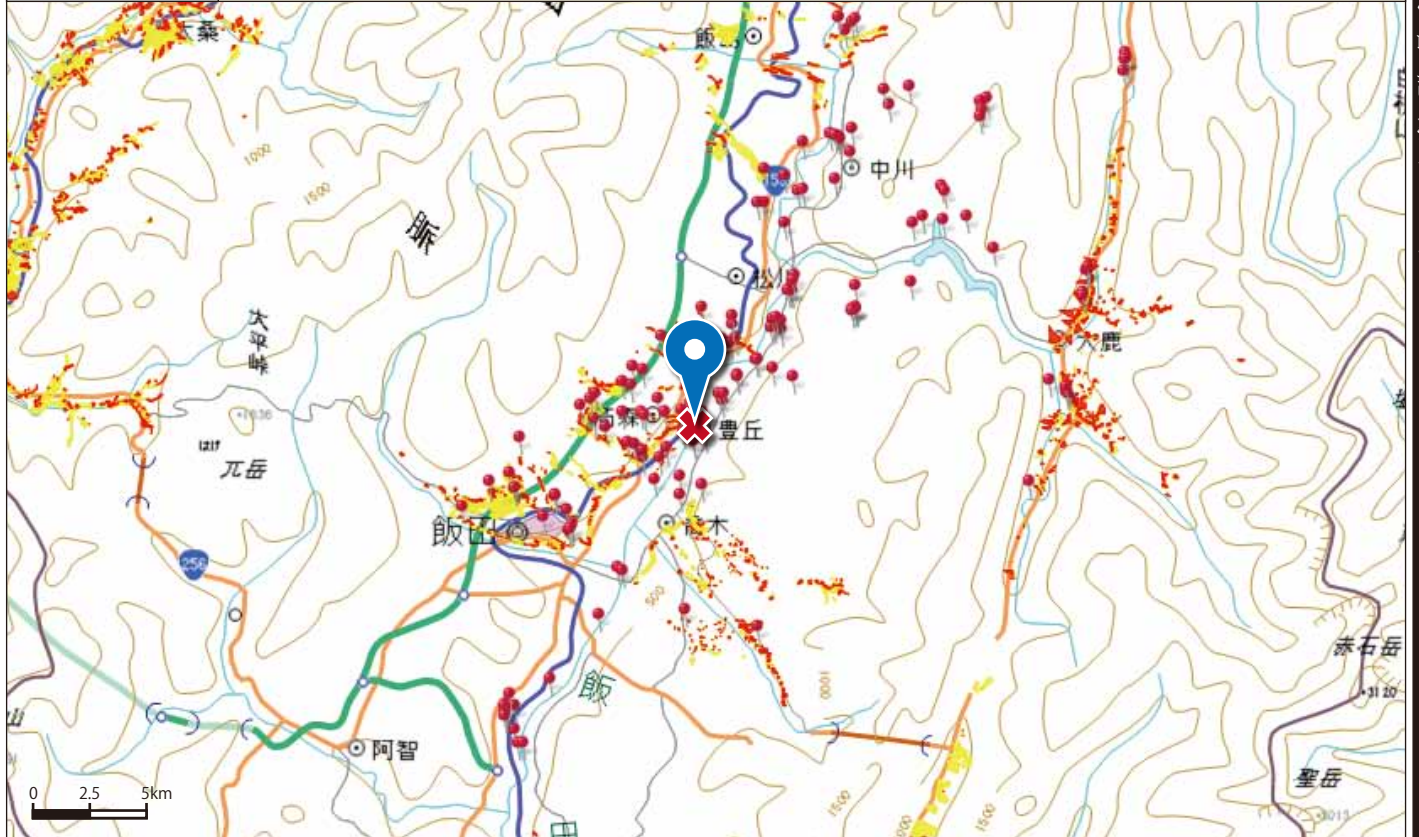
明神橋上に逃げ出した家畜

出典	「続・濁流の子」p.19		
備考			

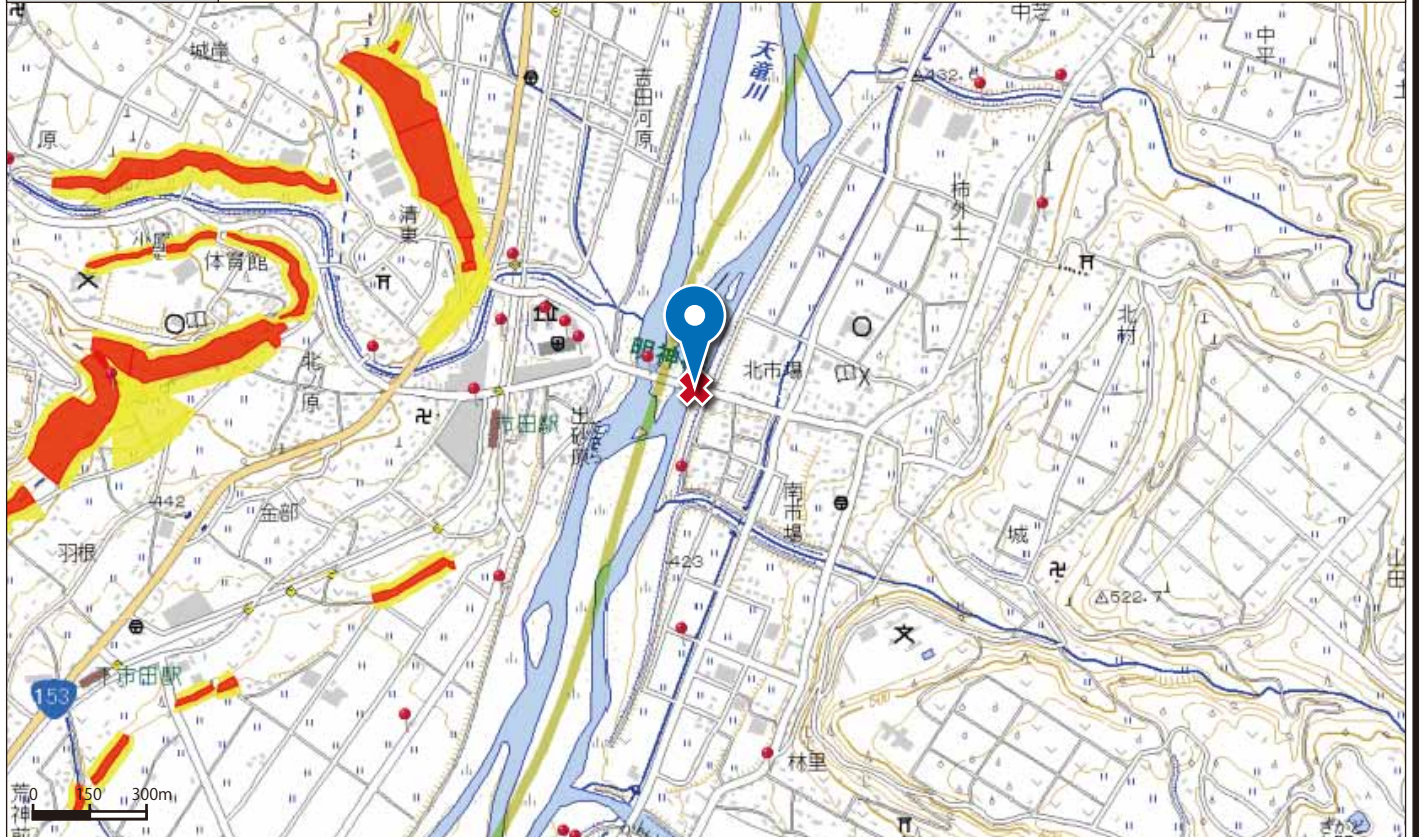
No.	16-1-6	場所	豊丘村 天竜川の明神橋	緯度	35.550158
-----	--------	----	-------------	----	-----------

名称	①明神橋の橋げたに打ち付ける濁流 ②明神橋上の(逃げ出した)家畜			経度	137.891727
----	----------------------------------	--	--	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。